



あらゆる現場で活躍するルミテスター

- 1、手指衛生 教育ツールとして
- 2、環境検査に
- 3、鋼製小物の洗浄評価に
- 4、消化器内視鏡の洗浄評価に
- 5、厨房の衛生管理に
- 6、歯科分野で

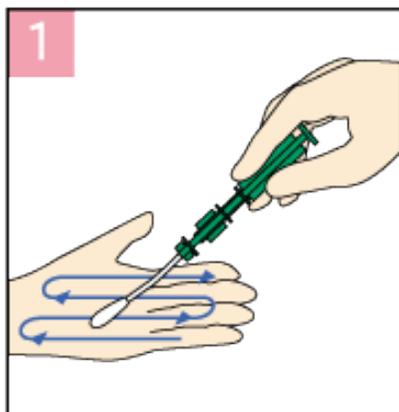


主な活用部署	手指衛生	環境検査	鋼製小物 洗浄評価	内視鏡 洗浄評価
感染対策チーム	○	○	○	○
中央材料室（手術室）	○	○	○	○
内視鏡室	○	○	—	○
透析室	○	○	○	—
栄養管理室（厨房）	○	○	○ （調理器具）	—
歯科	○	○	○	—

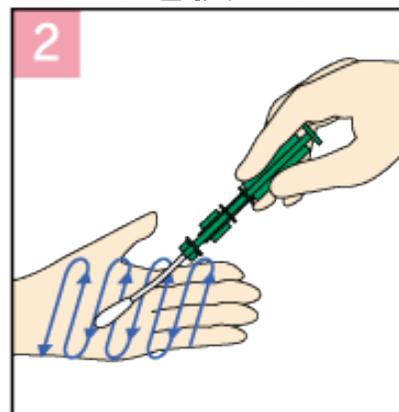
洗浄不足に起因するトラブルを、未然に防ぐための有効なツールとして活用されています！

流水で手洗いしたあとにふき取ります

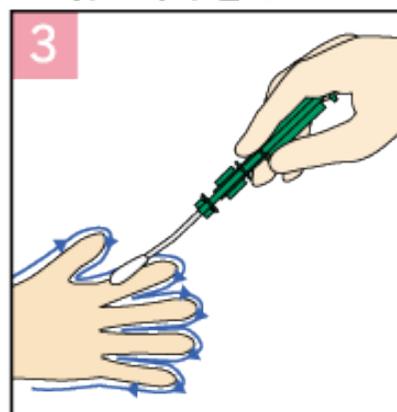
手の平を縦にふく



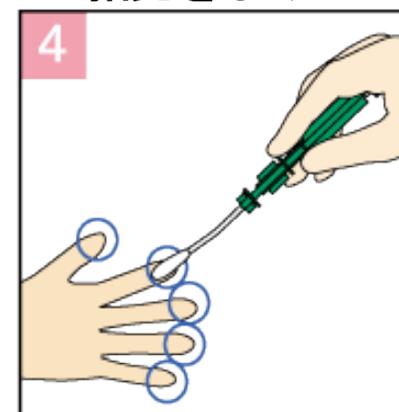
手の平を横にふく



指の間をふく



指先をふく



手洗い後の管理基準値は「2,000RLU以下」を推奨しています。

※ご注意！

擦式アルコール剤の殺菌効果は検証できません。

(ATPふき取り検査 (A3法) は菌検査ではありません)

高頻度手指接触表面を中心に検査します



検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ ナースステーション		
ワゴン	500	アーム全体をふき取る
聴診器	500	チェストピース全体をふき取る
血圧計ポンプ	500	ポンプ全体をふき取る
点滴台	500	ハンドル部分全体をふき取る
電話受話器	500	受話器部分全体 (内側・外側) をふき取る
パソコン (キーボード)	500	表面全体をふき取る
パソコン (マウス)	500	表面全体をふき取る
冷蔵庫取っ手	500	取っ手全体 (内側・外側) をふき取る
▶ 病棟		
オーバーテーブル	500	四隅・中央の10cm四方をふき取る
ドアノブ	500	ドアノブ全体をふき取る
ベッド柵	500	柵上部3ヶ所 (右・中央・左) の10cm幅をふき取る
ナースコールボタン	500	ボタン全体をふき取る
スイッチ各種	500	スイッチ全体をふき取る
▶ ME機器周辺		
タッチパネル	500	接触頻度が多い部分10cm四方をふき取る

汚れが落ちやすい箇所、通常の清拭では汚れが落ちにくい箇所がわかり
清拭方法の改善に役立ちます！

検査場所		清拭前	清拭後
パソコンマウス		1,492	484
ワゴン取っ手		2,190	75
ベッド柵		15,952	842
タッチパネル		9,727	556
ドアノブ		4,229	79

単位：RLU

鋼製小物洗淨評価方法

直接法

- 目視法
- 残留蛋白質ふき取り検査法
- 残留蛋白質染色検査法
- 残留蛋白質溶出定量法
- ATPふき取り検査法
- ATP+ADP+AMPふき取り検査（A3法）

（ATP法は、日本医療機器学会「鋼製小物の洗淨ガイドライン2004」
洗淨評価判定ガイドライン 2012」 「医療現場における滅菌保証のガイドライン2015」
に記載されています。）

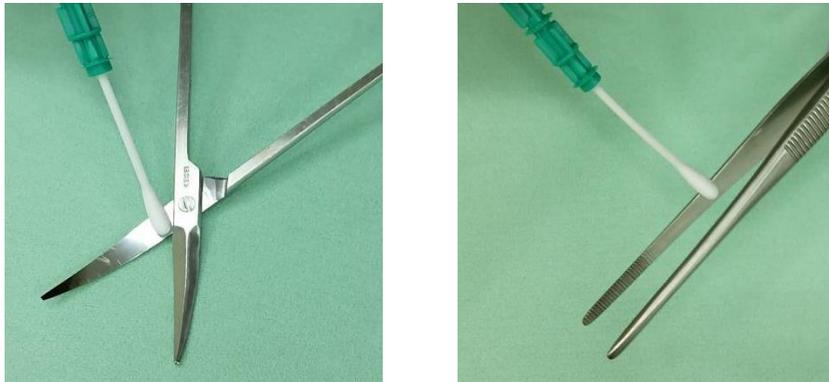
長所：

- 簡単、高感度
- 迅速、再洗淨不要
- 結果が数字で出る

間接法

- インジケータ法（テストソイル法）

綿棒でふき取れる箇所

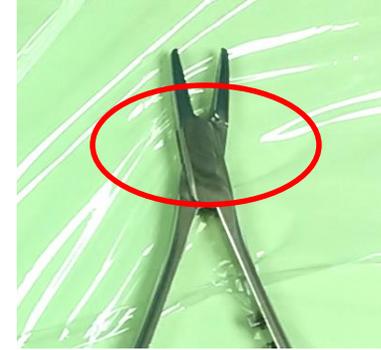


ルシパックA3 Surfaceの綿棒でふき取り測定する



綿棒でふき取れない箇所

ボックスロック部など



※ 市販の洗浄剤で汚れを溶出し、
ルシパック A3 Waterで測定する



カップリングスティック先端部



※ 洗浄剤に関しては、検査に適さない場合もあります。
詳しくは弊社までお問い合わせください。

管理基準値は「100RLU以下」を推奨しています。

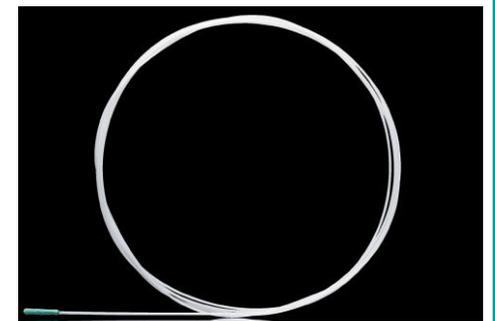
4、消化器内視鏡の洗浄評価に

チャンネル入口、先端部



ルシパックA3 Surfaceの綿棒でふき取り測定する
(送気・送水チャンネル、吸引チャンネルなども同様に)

鉗子チャンネル内部



ルシスワブES (長軸) でふき取り、
ルシパックA3 Surfaceで測定する

管理基準値は「100RLU以下」を推奨しています。



使用方法説明動画



ルシスワブES は、必ず先端サイズをご確認ください

- ・ ルシスワブES 2.0-2.2 → チャンネル径 **2.0~2.2mm**で使用
- ・ ルシスワブES 2.8-3.2 → チャンネル径 **2.8~3.2mm**で使用
- ・ ルシスワブES 3.7-4.2 → チャンネル径 **3.7~4.2mm**で使用

1



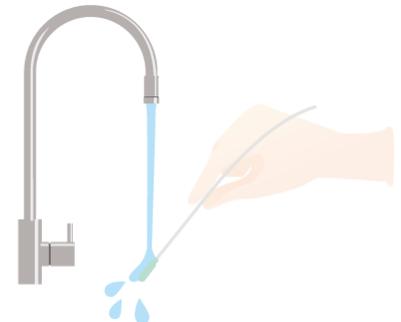
ルシパックA3 Surfaceを冷蔵庫から出し、室温に戻します。約20分程度で室温に戻ります。
 注意点：ルシパックを冷えたまま使用すると正しく測定できません。

2



パウダーフリーの手袋を着用し、ルシスワブ ESを取り出します。

3



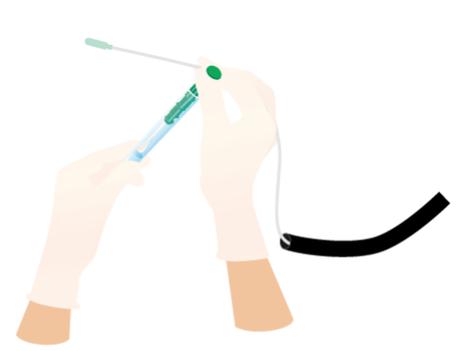
ルシスワブESの先端を水道水で濡らします。
 (生理食塩水は使用しないでください。)

4



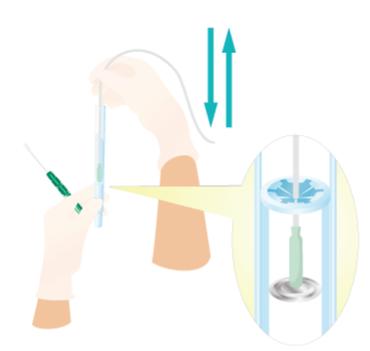
鉗子チャンネルからルシスワブESを挿入し、先端から抜き出します。(ここでは全て抜き出す必要はありません)

5



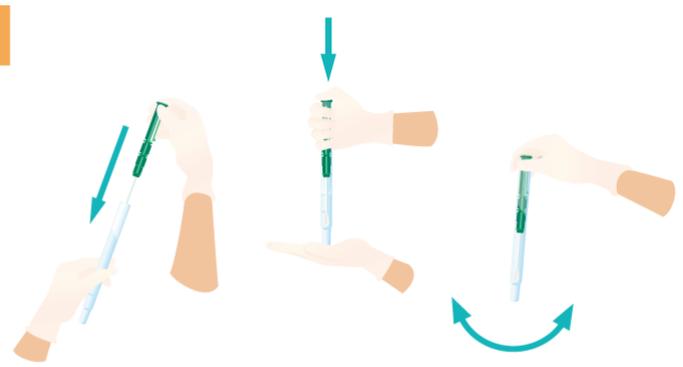
ルシパックA3 Surfaceの綿棒ホルダーを本体から引き抜きます。
 注意点:ルシパックA3 Surfaceの綿棒がどこにも触れない様に注意してください。

6



ルシスワブESの先端をルシパックA3 Surface本体の液体試薬容器上部中心に差し込み、下部アルミ部を破らないようにルシスワブESの先端部分を上下させ、抽出試薬(液体)で懸濁し、汚れを抽出します。ルシスワブESは引き抜き廃棄してください。

7



ルシパックA3 Surfaceの綿棒を本体に戻して押し込み、チューブの抽出試薬(液体)を振り落とし、粉末の試薬を完全に溶かします。

8



ルシパックA3 Surfaceをルミテスターの測定室に入れ、ルミテスターを立てて測定します。
 注意点:ルミテスターを寝かせてると正しく測定できません。

手指、調理器具、冷蔵庫の取っ手などを中心に

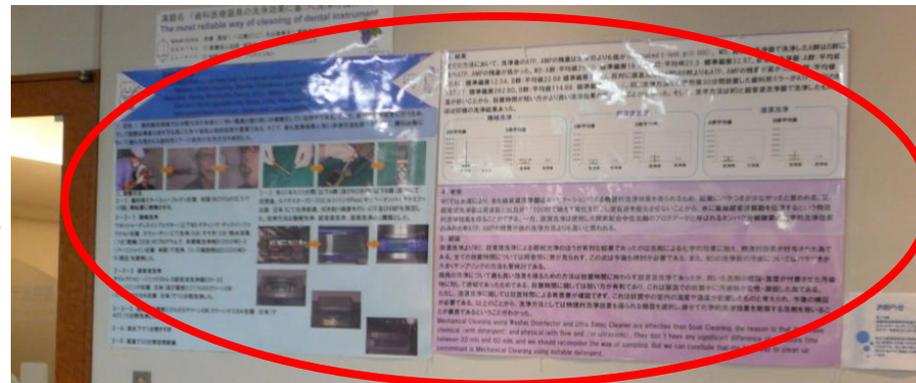
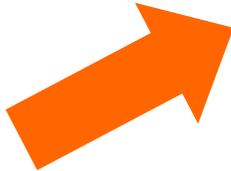
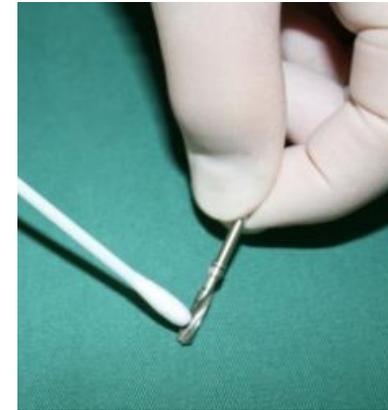
ATPふき取り検査法は、食品衛生検査指針に記載されています。

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ 厨房		
包丁	200	刃の両面全体と刃の付け根をふき取る
野菜皮むき	200	刃の先端をふき取る
玉杓子	200	取っ手以外全体をふき取る
まな板	500	中心部分10cm四方の縦横をふき取る
野菜ザル	200	中央底部分10cm四方の縦横と 上端部分内面1周をふき取る
水道栓	200	蛇口の取っ手全体をふき取る
シンク	200	シンクの四隅角をふき取る
冷蔵庫(取っ手)	200	取っ手全体をふき取る
出入口ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
盛り付け台	200	中心部分の10cm四方の縦横をふき取る
▶ 手指		
手の平(きき手)	2000	手のひら全体を縦横5~10往復、 手の間、指先をふき取る



全国の保健所、日本食品衛生協会、学校給食会、病院給食、食品製造工場、レストラン、宿泊施設、老人介護ホーム等で活用されています。

手指衛生、環境検査、歯科器具の洗浄評価など



待合室にルミテスターを活用した学会発表を掲げて
衛生管理をアピール（馬見塚デンタルクリニック様）



衛生教育、清浄度管理にお役立てください



以上

